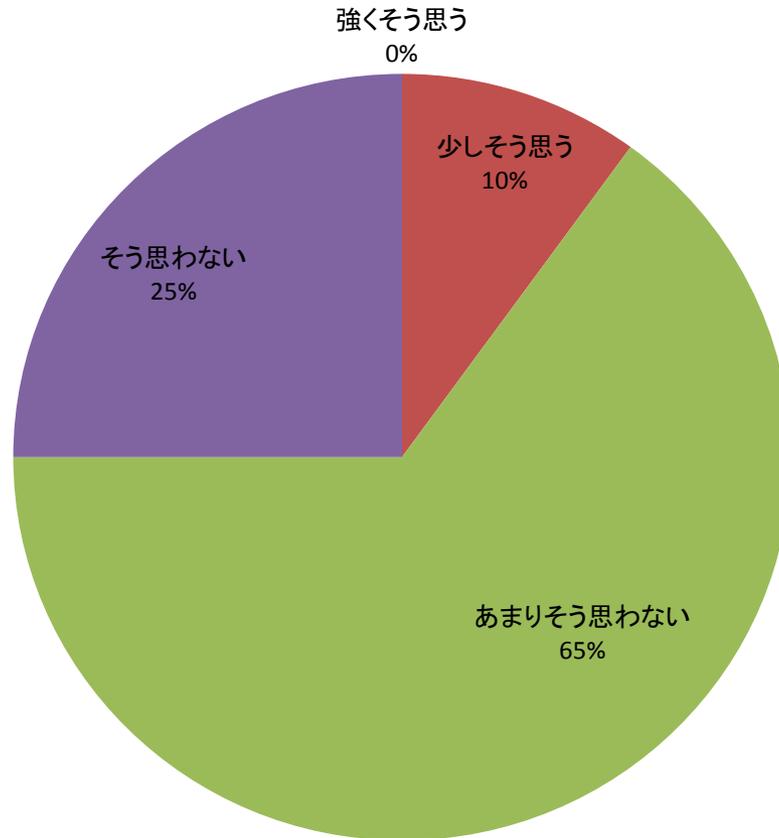


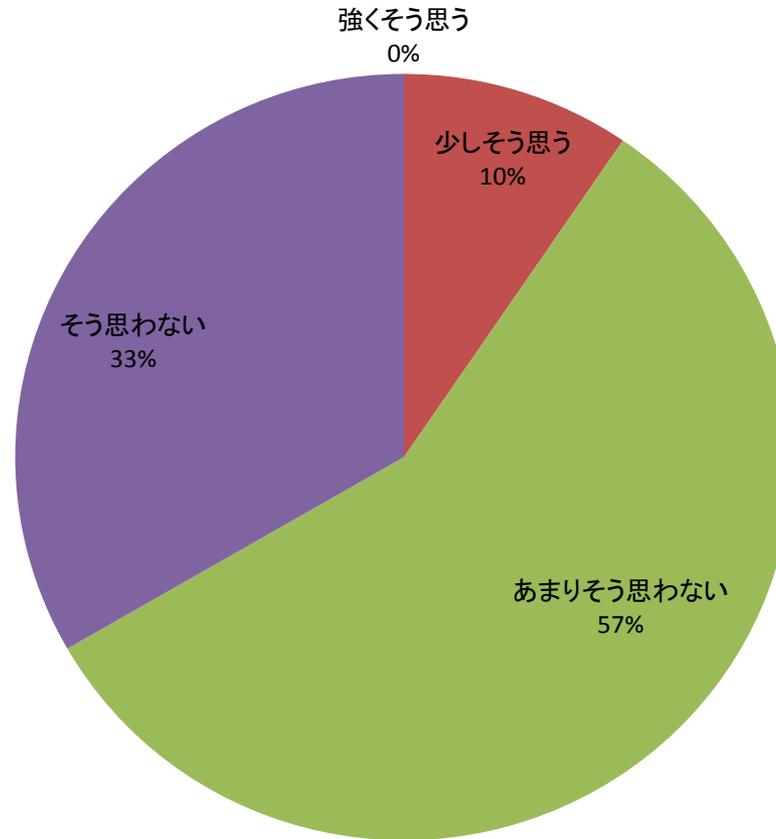
みんなでがんの施策と予算を 考えよう

患者等満足度に関するアンケート

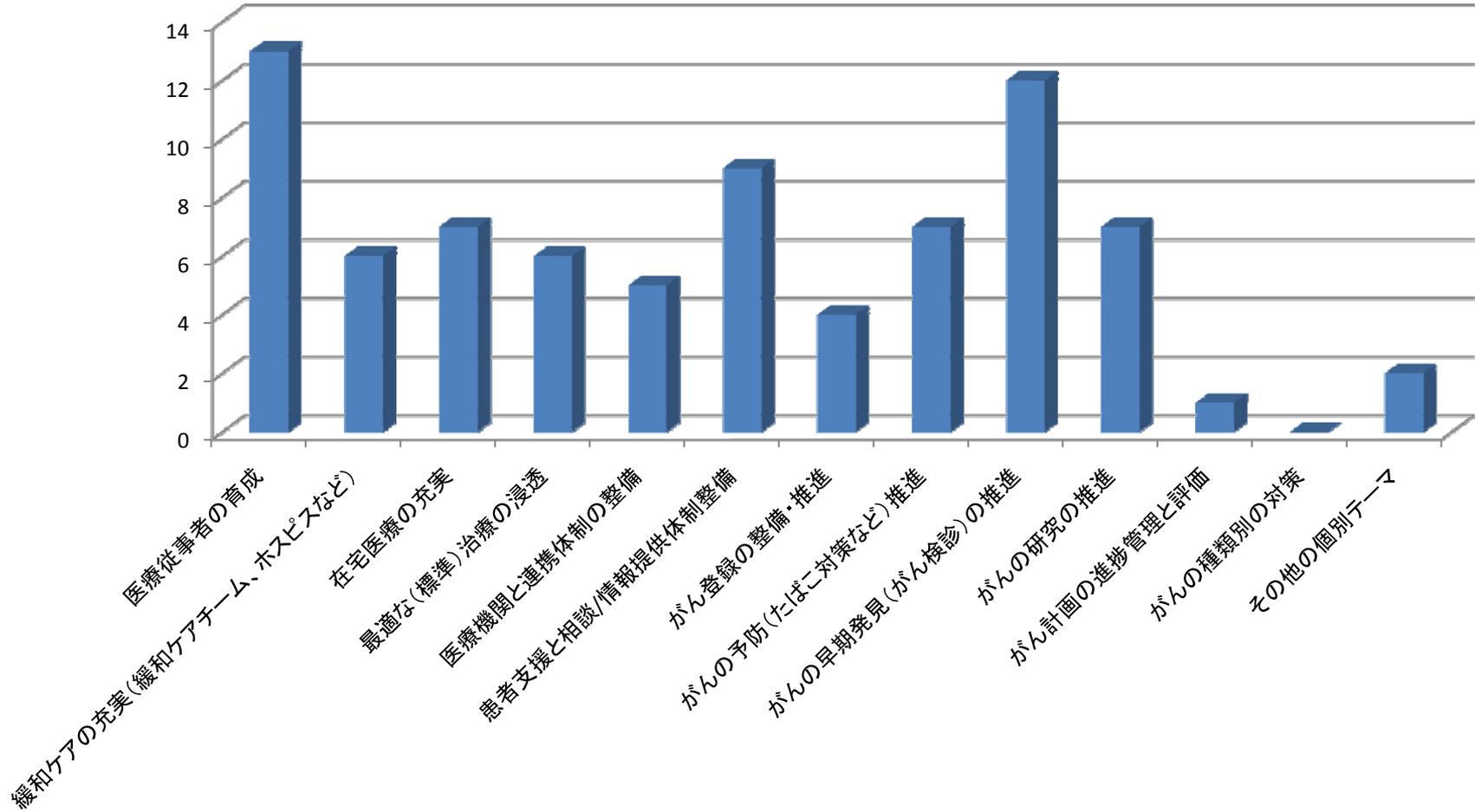
問1.現在の「がん対策」に満足されていますか。



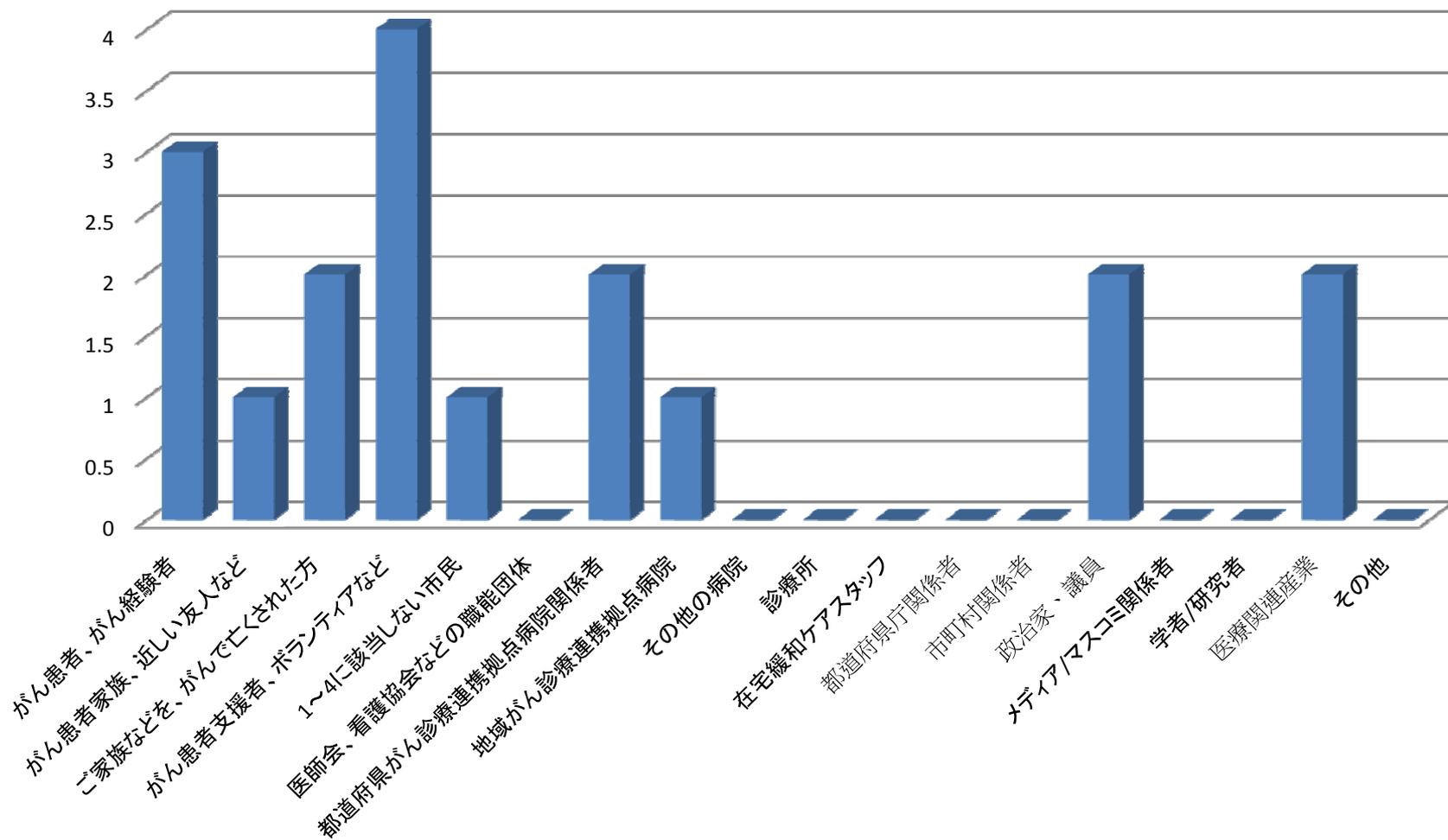
問2.現在の「がん対策のための予算」 は十分だと思いますか。



問3がん対策でもっとも重要であると思うテーマは何ですか。



ご自身に関して



がん対策について
現在の問題点・課題

がん対策について
実施してほしい対策と予算措置

がん対策について

現在の問題点・課題①

- 終末期の治療方法について。決して生きる希望を失ってはいないという患者が多い。痛みをケアする中で分子標的治療薬などの高度な技術を、そして費用を軽減されること。
- ホスピス医院から自宅への在宅医療へのスムーズな連携体制が整ってほしい。
- がんの専門医・看護師の育成。技術、心のケアをしっかりと学んで欲しい。
- 外科的治療が先ではなく、分子標準的治療薬の有効利用。
- 心のケアをするサロンを作って欲しい。告知の時のがん体験者のフォローをできる体制。

がん対策について

現在の問題点・課題②

- がん予防のための予算がどのように、いくら使われているのか知らない。
- 医療機関により治療に差がある。
- まず、医師そのものが不足している。また、十分な医療施設や治療体制が整っていない。
- がん検診の拡大
- 研修の場(認定看護師等の取得)が東京に1か所しかないために専門家が少ない。
- 放射線科の治療医も少なく不安です。
- 早期発見が出来るケースも多いとはおもうのですが、そうでないケースもまだまだ多いと思う。

がん対策について

現在の問題点・課題③

- 医師（主治医）の緩和への認知の低さ。
- 年1回の検診を受けているが十分か？
- そもそも癌にかかる治療がなにかというのが浸透していない。
- 緩和ケア病棟が少なく、家族の負担が多くなる。対応に不安。
- 諸外国に比べたばこが安すぎる。
- がん検診がなかなか受けられない。

がん対策について

現在の問題点・課題④

- 外来化学療法を受ける人の医療負担が大きすぎる。
- 医師の態度やコミュニケーション能力のなさに、傷つく患者が多すぎる。
- 誰でもかかる可能性があるという立場から、早期発見のための検診の充実例えば、民間会社、自営業者が必ず受診できるようにする経費負担がないようにするなど

がん対策について

現在の問題点・課題⑤

- 県が作成した「保健医療計画」をもっと一般人へ普及して欲しい。医療機関への配布では何のための計画か。
- 在宅療養をすすめる又は続けるには困難がある。介護者の負担を減らすには経済的問題がかかわってくる。
- 自然な形で相談できる、本当に相談したい時に相談できる、相談したい人に相談できるにはどうしたらいいのかと思います。

がん対策について

現在の問題点・課題⑥

- 医療従事者のリーダーシップ、人材育成はかかせない。
- 私は慢性骨髄性白血病が発症しています。グリペックを服用していますが費用が高い。グリペックは、韓国では無料というが少なくとも特定疾患にしてもらい少なくとも個人負担1万円にしてほしい。
- 現在高額療養費支給を受けているが、那覇市は病院窓口で全額個人負担分10万円を払ってから全国国民健康保険協会に手続きをしてから4万円の負担になっている。病院窓口で直接4万円払えば、それですむよう病院窓口と全国健康保険協会と連携させて、毎回手続きをしなくてすむようにしてほしい。経済的にも不安です。

がん対策について

現在の問題点・課題⑦

- がん患者が病気の実態を理解できるような講習をして欲しい。また精神的、生活上の不安を解消するようにメンタルケアをしてくれる専門家を養成して欲しい。
- がん予防の啓発
- 緩和ケアの充実
- がん研究の推進
- 標準治療の浸透

がん対策について

現在の問題点・課題⑧

- 医療従事者の育成。がんについて何でも相談乗ってくれ、疑問や不安を解決できる専門家が少ない。
- 未成年からの長期喫煙
- 家庭における喫煙者からの福流煙
- ホスピスと長期療養型の病院における長期治療。

- ・健診で「要精査」となり、診療所で検査すると同じ検査をして「異常なし」や、「経過をみる」という医師のほとんどが「専門外の診断」をしている。もっと医師が自覚してほしい。
- ・今年、夫が癌で亡くなりました。最初から末期の進行がんでした。本当に残念です。早期発見を、反省を込めて強く望んでいます。
- ・たばこ喫煙防止対策について！特に未成年者の喫煙防止の強化
- ・人材育成には時間と費用がかかる。また、各職種はそれぞれ忙しく研修へ行く時間が十分に確保出来ない。研修に誰か行くと、欠員になり現場の労働環境が悪化するという悪循環がある。
- ・がん早期発見に血液検査を推進希望する。

- 緩和ケアの病院が少ない。
- 在宅医療の場合急に病が悪くなったときに、不安がある。
- 医療従事者の育成のための技術向上や、研修の充実を図られているが、がん患者への接遇など心のケアも重要な医療人としての基盤となるものと考えています。研修内容の充実をはかる中で、広く視点を見据えた育成プログラムの構築が必要と思います。

- : がん検診等の受診率アップ
- ・ 沖縄県の行政のなかで、がん対策について長期的視野をもって、各医療機関を繋ぐ専門の部署と専門家がない。
- ・ 血液検査でがんが分かると思う。
- ・ 医師の確保
- ・ ホスピス病院が少なすぎる。

がん対策について

実施してほしい対策と予算措置①

- 分子標的治療薬を最善に使って、外科的治療ではなく、特に乳房を完全に残す方法で。費用面の負担。韓国では無料で国が負担している。
- 子宮頸がんのワクチン。分子標的治療薬の使用。安価か無償提供して欲しい。
- 高度医療の研究施設の設置。高度な検査機器や設備。
- 負担のかからない費用、技術をもっと国が支援して欲しい。
- がん(女性特有)専門病院の設立をして欲しい。
- 国策として取り上げる。
- 標準治療、高度医療の均てん化
- 医師不足を解消するための予算を投入。

がん対策について 実施してほしい対策と予算措置②

- がん治療の充実に予算を投入する。
- 沖縄にも研修の場の設置を。
- すべてのがん検診を必修項目にすることが出来ればと思います。(その際の個人負担をできるだけ少なくしていただけるとありがたいです。)
- 医療者への教育の強化(海外研修含む)
- 検診への補助、低料金での受診。

がん対策について 実施してほしい対策と予算措置③

- 国立がんセンターのような医療機関の設置やそこに至るアクセスを整備すべきである。
- ホスピス等のがん専門病棟の設置を。
- たばこの値上げ、禁煙エリアの拡大。
- すべての人が受けられる検診制度、市や県が行う当然のサービスとして提供すること。
- 医療機関の詳細情報の提供を。

- 医師の専門分野を看板などに明記することをしてほしい。
- いろいろの検査器具等があつてすぐにがんの発覚が分かるのがいいが、検査の医療費がもう少し安く受けられるといいと思う
- 人材育成には、短期と長期の視点で取り組む必要がある。研修へ出られるように代替用員の確保など。ゆとりのある医療現場の労働環境作りに予算が使えるようにしてほしい。

- ・たばこの値段をもっと上げてほしい。
- ・普段どんなに気をつけていても、病気になる時はあるんだと思います。だから、その為にも早期発見が大切であると考えます。
- ・治療費が高いので負担が大きい。
- ・県庁のなかに、がん対策推進プロジェクトチームを作るのはどうか。ぜひ、臨床の現状をよく見て対策をしてほしい。
- ・ホスピス病院を中部に設置してほしい。

- がん対策の立案プロセス、がん対策のための
の予算(財政)措置など
現在の問題点・課題
- がん対策の立案プロセス、がん対策のための
の予算(財政)措置など
実施してほしい対策と予算措置

がん対策の立案プロセス、がん対策 のための予算(財政)措置など 現在の問題点・課題

- がん対策のプロセスがはっきりしていないということ。
- 予算が少ない、やりたくても実行できない現状。

- :この前の補正予算で組まれた「女性特有のがん」のような、その場しのぎの施策はやめてほしい。
- ・現在、グリペックを服用、治療で高額医療控除を受けているが、それでも月3万円前後の自己負担となっている。今後、半永久的に薬の服用を続けると老後のこともあり、心配である。
- ・がん対策の普及啓発を県民を挙げて実施してほしい。
- ・国は、地域がん診療拠点病院2千2百万の予算で拠点病院としての様々な事業や役割を求めているが、実際は沖縄県では480万となっている。その予算で、2200万分の仕事をするのは難しい。
- ・がん患者の数に対して、ホスピス病院が少なすぎる。
-

がん対策の立案プロセス、がん対策 のための予算(財政)措置など 実施してほしい対策と予算措置

- プロセスの制度化が必要である。
- がん情報の開示を(医療機関の詳細)
- 国⇔県→市町村⇔住民との連携のための予算を。
- 国、県への働きかけ(市民含む)が必要

- 沖縄で多いがんから、計画的に1つ1つ対策を立てて取り組んでほしい。
- 行政側(県・国)に自己負担を1万円前後に出来ないか予算措置をしてもらいたい。
- 国が示している予算が、どの県でもきちんともらえるような予算措置が出来るように制度を変えて頂きたい。
- ホスピス病院や在宅緩和病院に予算措置してほしい。

ご自身に関して

